

「女城主 井伊次郎法師直虎」応援ソング

1. 「いいっ！直虎」 (Nice! Naotora) Vers.1

作詞 井の民 作曲 一の沢智兵衛・藤ノ下宗次郎  
Vocal 高林工・高橋たえ  
口上 講談師 田辺一邑 (浜松市やらまいか大使)  
読経 武藤宗甫 (龍潭寺住職)  
台詞 中川綾子 (劇団砂喰社)

2. 「いいっ！直虎」 (Nice! Naotora) Vers.2

作詞 井の民 作曲 一の沢智兵衛・藤ノ下宗次郎  
Vocal 高林工・高橋たえ  
口上 講談師 田辺一邑 (浜松市やらまいか大使)  
台詞 中川綾子 (劇団砂喰社)

3. 直虎音頭

作詞 井の民 作曲 一の沢智兵衛・藤ノ下宗次郎  
Vocal 一の沢智之進

4. 「いいっ！直虎」 (Nice! Naotora) カラオケ

5. 直虎音頭カラオケ

※教育機関においての使用を考慮し、Vers.2はお経が入っておりません。

■The Straight Tiger Band (ザ・直虎バンド)

All Saxophone & Piccolo 上野介 Trumpet 小野お通 Trombone 藤ノ下宗次郎  
Guitar 柳生八兵衛 Keyboard & Trumpet 空丸 Bass 馬仁蔵 Drums 淳座衛門

■Executive Producer & Coordinator 一の沢智之進 (「Power of Music」Project)

■All Arranged by 藤ノ下宗次郎

■Recording & Mixing Engineer 淳座衛門 at GIZMO STUDIO

■Vocal Recording Engineer 小池真一郎 at Hal Sonic Studio

■イラスト 服部謙司

■題字 中澤希水

■デザイン STUDIO Peta

■Special Thanks

藤下宗一郎・川口直久・田辺一邑 (講談師)・武藤宗甫 (龍潭寺)・松尾交子 (劇団砂喰社)・杉浦佳一

井伊次郎法師  
直虎

井伊次郎法師  
直虎

井伊次郎法師

直虎  
浜松市



みんなのほろろ  
創造プロジェクト

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

## 直虎応援ソング制作にあたり

私たちの住む浜松市は「楽器の町」でもあり、老いも若きも音楽と同居する「音楽の街」でもある。

石を投げればアマチュアミュージシャンにあたると言われるこのまちの週末演奏家が核となり結成した「Power of Music」Projectがこの企画の仕掛け人である。

本事業は浜松市の「みんなのはままつ 創造プロジェクト」に採択され、直虎応援ソング制作を通じて微力ながらも直虎像の人物像の理解と発信に寄与できればこれ幸いと始動した。

この事業のコンセプトは「習って覚えろ」「ひとり歩きOK、制限なしの拡散」がキーワードである。

我々人間は何回も反復することにより学習をする。

本CD収録の「いいっ！直虎」は、本市でも人気があるよさこいで踊ることが出来るようダンスブルにアレンジされた。そして直虎音頭は地域の皆様にお祭りで親しんでいただくため盆踊りバージョンとした。どちらも反復して踊るうちに、我々の思惑どおり、いつの間にか歌詞に洗脳され直虎について学ぶという仕掛けになっている。長きにわたり子どもたちが口ずさみ地元で愛されることを願ってやまない。

併せて、本楽曲は吹奏楽にも編曲されるため、多くの吹奏楽団がこの作品を演奏することになるであろう。そしてまたここでも、反復の練習により直虎像を知ることとなる。

また私たちは本楽曲の著作権を主張し、これらの使用法について管理する気は毛頭ない。このCDを手にした皆様お一人お一人が得意とする分野で知恵を絞り、多くの市民・観光客の皆様のお役に届くよう横展開の活動をされることを切に願う。

平成28年8月吉日

「Power of Music」Project メンバー一同



※本楽曲を活用した活動の模様を、写真とコメントを添えて下記までご報告くださいますと光栄です。

「Power of Music」Project 事務局 E-Mail [kanma\\_21@yahoo.co.jp](mailto:kanma_21@yahoo.co.jp)

## 女城主井伊直虎

次郎法師はおなごにこそあれ

井伊家の歴史の中に、次郎法師という僧侶の名前を見つけることができます。しかしながらこの次郎法師という男名前の人は実際には女性で、しかも還俗（げんぞく）して直虎と名乗って地頭職に就いています。

つまり井伊谷城（現、浜松市北区引佐町井伊谷）の主になっているのです。

女でありながら男を装い領地を治め、差配したのは何故だったのでしょうか。

それはその頃の井伊家は、後継ぎと目された男子が次々と死ぬという悲劇が続いたためこの折に窮余の一策から女子を城主に就けたことにあります。戦国乱世のこの時代、東に今川北の武田、西に徳川という強大な勢力に囲まれた狭間の中で、井伊家は駿府の今川家に仕えていましたが、長年にわたって虐げられ続け、屈辱に耐え忍ぶという辛酸の日々の明け暮れでした。今川の戦陣にはいつも井伊の名があり、先兵として多くの血を流しました。

このような中、井伊家には血脈を継ぐ男子がなくなり、ただ1人、仏門に入り男名前で次郎法師と名乗っていた女子の「おとわ」だけになっていたのです。

祐椿尼（直盛の室・千賀 おとわの母）は龍潭寺住職の南溪瑞聞和尚と相談して、次郎法師を地頭職に就け直虎と名乗らせました。女でありながら男として生きた直虎は、存亡の危機にあった井伊家を見事に救った健気な佳人（ひと）でした。何としても井伊家を滅ぼしたいと画策する今川方は、地域に混乱を生じさせることを目的にして、徳政令の即時実施を要求してきました。直虎はこれを決然と交わし、債権・債務者が共に成り立つよう擁護しました。

この間にも家老の反逆・所領横領、今川方から地頭職の罷免がありましたが、おのれの知恵と勇気、そして幼い頃に約束を交わした人への一途な愛。愛を貫き運命を切り開いて戦国を生き抜き強い井伊の将来への夢を、後に徳川四天王のひとりとなる井伊直政に託した激動の生涯でした。没年：天正10年8月26日（伝・享年47歳）